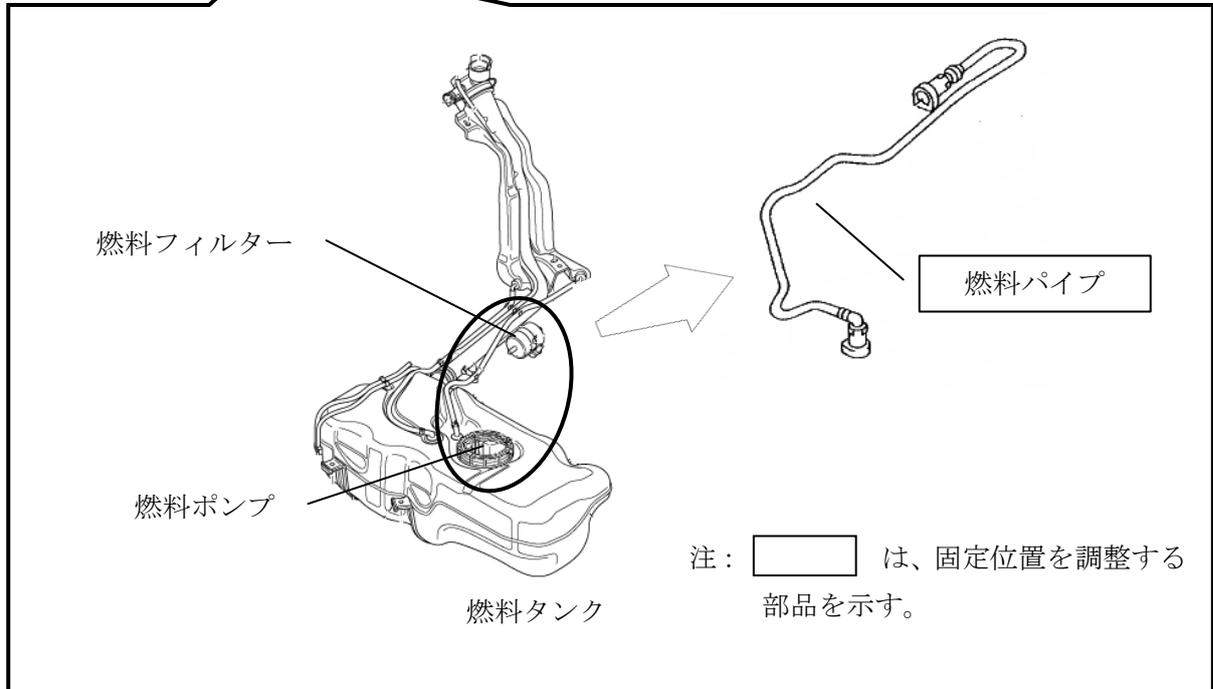


## 改善箇所説明図



### 基準不適合発生箇所

燃料パイプの形状が不適切なため、燃料ポンプの吐出口に押す力が加わっているものがある。そのため、そのまま使用を続けると燃料ポンプの樹脂パイプ部に亀裂が発生し、燃料が漏れるおそれがある。

### 改善の内容

全車両、燃料パイプの固定位置を調整しケーブルバインダーで固定する。また、燃料漏れがあるものは燃料ポンプを新品と交換する。

識別：キャンペーンステッカーに「20Q6、日付（西暦・月・日の順）、ワークショップスタンプ」を記入し、スペアタイヤ収納部左側面に貼りつける。

